

能登町ファンに感謝

ふるさと能登町応援寄附(ふるさと納税)の平成29年度実績は、9,617件、186,396,299円で、多くの皆様から多額のご寄付をいただきました。

これも東京奥能登応援団の皆様をはじめとする、全国の能登町ファンの皆様のおかげです。

平成30年度も「ふるさと能登町」の応援をよろしくお願いたします。

応援寄附のお申し込み方法

パソコンやスマートフォンからインターネットでお手軽にお申し込みいただけます。

お手続きは「ふるさとチョイス」内の能登町ページまたは能登町ホームページをご覧ください。

インターネット以外でのお手続きをご希望される場合は、能登町ふるさと振興課ふるさと納税係までお問い合わせください。

ふるさとチョイス

<https://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/17463>

能登町ホームページ

<http://www.town.noto.lg.jp/>

皆様からご寄付いただいた寄付金(ふるさと振興基金)の使い道は、納税者様に選択いただいた施策に充て有効活用しています。(地場産業の育成事業、観光・地域振興事業、移住・定住促進対策事業、子育て・社会福祉活動事業、教育水準の向上事業、スポーツ・地域文化活動事業、防災・防犯対策事業)

お問い合わせ先

〒927-0492

石川県鳳珠郡能登町宇出津新1字197番地1

能登町役場ふるさと振興課ふるさと納税係

TEL0768-62-8532 FAX0768-62-8538

平成20年度からスタートした「ふるさと納税制度」。珠洲市では平成28年度から、寄附いただいた方に、加能ガニや能登牛、お米、日本酒、珪藻土コンロなど、本市の特産品をお選びいただき、お礼の品としてお贈りする制度をスタートいたしました。

平成29年度にいただきましたご寄附については、平成29年9月3日から10月22日までの5日間、珠洲市全域を会場にした奥能登国際芸術祭2017の開催事業や、学校統合により遠距離通学となっている児童生徒のためのスクールバス購入、タニタヘルスリンクの健康プログラムと連携した「すす健やか事業」など、多くの事業に活用させていただいております。

■〒927-1295 石川県珠洲市上戸町北方1字6番地の2
珠洲市役所 産業振興課ふるさと納税係
Tel 0768-82-7775 Fax 0768-82-7802

ふるさと珠洲市 サポーターを 募集しています。

した。誠にありがとうございました。

平成29年度にいただきましたご寄附については、平成29年9月3日から10月22日までの5日間、珠洲市全域を会場にした奥能登国際芸術祭2017の開催事業や、学校統合により遠距離通学となっている児童生徒のためのスクールバス購入、タニタヘルスリンクの健康プログラムと連携した「すす健やか事業」など、多くの事業に活用させていただいております。

珠洲市では、「美しい里山里海の自然環境の保全」「子どもからお年寄りまでが元気で暮らせる住みよいまちづくり」を進めております。珠洲で生まれ育ち、学び、そして今は離れた地域にお住まいの皆様、珠洲を応援していただける皆様、ぜひ「ふるさと納税制度」を活用して珠洲市を応援してください。皆様からの応援を心からお待ちしております。

こらむ

アイデンティティ 39

帰省再考の情

自然に伝説文化を内蔵する『曾の坊の滝』

宝立山の根っこ近くに清い水飛沫を上げる12.8メートルの「曾の坊の滝」がある。見附海岸に注ぐ盤若川の上流約4キロメートルにあるいわば源流地である三杵(※)の啼き桜伝説の弘法大師(空海)を開基とする吼木山法住寺に近く、大師が護摩を焚いた修行跡であると伝えられている。半島ゆえ海岸から近距離でも深山の態を成し静かで奥深い霊地を感じさせる。

少年の頃近くに住んでいたのだが、こともあろうに私には今回が初めてであった。五月草木の緑増す頃に行く。付近の岩壁は隆起した岩層が剥き出しになっており半島の形成された太古を知らされる思いの中で、本体は白い布状で光り輝きホップ・ステップ・ジャンプの美姿で滝音は力強い演奏をしているかに聞こえてきた。その音響は弘法大師の護摩修行と幻想的にダブって法華経の合唱に錯覚される。もしかすると、盤若川の魚はお経を誦していたと語る古老もいたかも知れない。

滝を訪ねて3日後、北國新聞で宝立中学校の生徒たちによって「滝見ベンチ」を備えるという記事を読んだのである。実に座ってやわらかい風に吹かれて観賞したかった。自然と伝説文化を活かす、郷土起こしの若者層の心意気と風土が頼もしく嬉しかった。

(※)空海が中国青龍寺の恵果阿闍梨から伝承者として五杵杵・三杵杵・独杵杵の三杵を受け、日本に向けて投げた。五杵杵が珠洲宝立の桜の木にかり法華経を唱えていた。(押上武文(府中市 宝立町出身))

美しい能登 挿絵画家 西のぼる氏 世界農業遺産を描く(その2)

◆揚げ浜式の塩造り

揚げ浜式製塩は、粘土の土台に砂を敷きつめた塩田に海水を撒き、太陽熱と風で蒸発させた塩水を釜で煮詰めてミネラル豊かな天然塩を造る方法である。

古来の道具を使い、「浜土」「浜とり」など伝統の名称もそのまま、海水汲みは重労働であり、海水撒きにはワザがある。「オチョケ」と呼ばれる砲弾型の手桶で海水を撒く瞬間に捻り出された海水は円錐を描き、均等な飛沫となつて着地する。塩汲み3年、塩撒き10年と言われる熟練の技である。

塩は自然からの「おすそわけ」、塩造りはこの土地に住む者の天職として受け継がれている。



◎能登の揚げ浜式製塩(国の重要無形文化財)
製塩技術を継承する珠洲市清水町の角花豊さん(70歳)は4月下旬から10月上旬まで、晴れの日を中心に百日ほど塩造りに励んでいる。

2011(平成23)年6月能登半島の古くからの営みが伝わる能登の里山里海が世界農業遺産に認定されました。歴史小説の装画で著名な珠洲市出身の西のぼる氏は、能登半島の美しい風景と共に豊かな里山里で生きる人々の悠久の営みを優美で繊細な筆致で描き上げています。

◆箱めがねに広がる里海の世界

日本海の穏やかな「風の日」伝馬船という小舟を操って、海草、サザエなどを捕獲する漁師には欠かせない道具が「箱めがね」である。

「箱めがね」を通して見る能登の海中はどこまでも透明で、海底の砂で作られた波紋さえも指紋を見るがごとく、くつきりと識別できる。
色とりどりの海草がゆらぎ、その間を大小さまざまな種類の魚がゆうゆうと泳ぎ、「箱めがね」を通して見る世界は、まるで乙姫のいる竜宮城を見るようである。

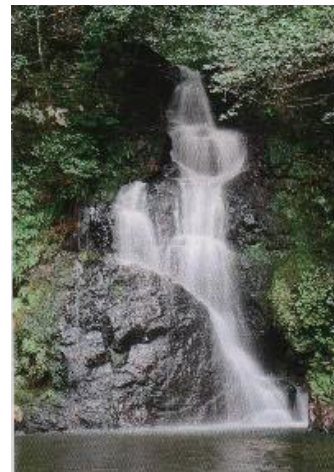
鑑賞文 すぐ椿協会監事 田中栄俊



6/2 “能登ふるさと博”が開幕

能登半島4市5町全域をパビリオンに見立て、一年を通じて多彩な催しを行う一大イベントです。

輪島で県知事も出席してオープニングイベントが行われました。里山里海、伝統、祭り、食文化、そして人々との出会いを通して能登の魅力を感じることができます。首都圏の出身者の皆さんには離れてみてこそ“故郷の良さ”が実感されると思います。能登立国1300年の歴史を語る名刹・古刹、旧跡と各地に織り成す様々な能登模様が溢れる“パビリオン”を探索してみませんか。



“空海伝説の里”宝立 【その2】

曾の坊の滝・・・
知る人ぞ知る珠洲の隠れた名瀑。
盤若川の源流・宝立町の加護(春日野の奥地)に所在

飯田高校同窓会東京支部総会の開催



石川県立飯田高校同窓会や40人を超える陶芸家の活躍などを紹介しました。

東京支部は、5月26日東京区東京ガーデンパレスにおいて、86人で支部創設37周年の総会・懇親会を開催しました。

総会は、山崎敦子副支部長が開会挨拶を行い、続いて佐道正春飯田高校校長が来賓祝辞を行い、「国公立大学への進学が伸び、運動部においても陸上競技やウエイトリフティングで全国チャンピオンを狙う選手がいる。登校生徒達の挨拶が校風になり地域の話題になっている」などと現況を報告しました。上京参加した前順二本部同窓会会長が「伝統校の卒業生の親睦と交流を続けながら、ネットワーク、新しい出会いを作っていく」などと活動報告を行いました。新役員

の選出、規約の一部改正を審議した後、珠洲焼創始会会長 遊戯窯 篠原敬氏(31回卒)が「珠洲焼の魅力と今後の展望」と題して特別講演を行い、珠洲焼の歴史や特徴・魅力

を約して散会しました。

【役員の改選】(新)新任 (再)再任

- 支部長 光真 章(18回・新)
- 副支部長 山崎敦子(26回・再) 橋元昌幸(23回・新)
- 石黒雅彦(28回・新)
- 幹事長/鹿肝泰春(18回・再)
- 幹事/会計:本田ゆり子(29回・再) 書記:下谷信子(25回・再)
- 石糸歌子(18回・再) 正司享二(21回・新)
- 田島正子(25回・新) 寅ヶ口敬祥(31回・新)
- 監事/台蔵昌子(18回・再) 細口貴弘(29回・新)
- 顧問/前田 博(中12回・再) 谷 克己(中14回・再)
- 平 久(3回・再) 表久雄(7回・再)
- 笠原英二(9回・新) 谷 辰夫(10回・新)
- 神尾 昌(10回・新)

飯田高校同窓会(本部)定例総会

日時:平成30年8月16日(木)午後2時～
会場:珠洲商工会議所会館 2階ホール
珠洲市飯田町1丁目1-9 ☎0768-82-1115

- 次第:
1. 総会
 2. 講演会 小西豊治氏 (19回卒で、現在は中国北華大学荣誉教授)
講演題目「海を拓く珠洲」
 3. 懇親会(アトラクションは、珠洲を代表する『御神事太鼓』)
 4. 会費:3,000円
- お盆で帰省の皆さん、こぞってご参加ください。

ふるさと行事のご案内

- 7月14日(土)15日(日) 横浜石川県人会・横浜花火大会物産展 [山下公園]
- 7月28日(土) ふる里柳田会総会・懇親会 [上野公園・旦那楼飯店]
- 7月28日(土)29日(日) たまプラーザ夏まつり [横浜市青葉区・美しが丘公園]
- 8月1日(水) オーケストラアンサンブル金沢演奏会 [東京オペラシティ]
- 9月8日(土) いしかわご当地グルメPR [いしかわ百万石物語江戸本店]
- 10月26日(金) いしかわ県人祭in東京 [ホテル椿山荘東京]
- 11月9日(金) 東京珠洲会総会・懇親会 [浅草ビューホテル]

- 石川県農業関連イベント
- 7月28日(土)／新・農業人フェア [東京国際フォーラム]
 - 8月4日(土)／農業キックオフ講座 [パナグループ本部ビル]
 - 8月24日(金)／農業女子とのカフェ&トーク [パナグループ本部ビル]
 - 8月26日(日)／マイナビ就fest [新宿ミライタワー]
 - 9月1日(土)／新・農業人フェア [池袋サンシャインシティ]
- 〈お問合せ〉
農業政策課
076-225-1613

【プロフィール】

1960年生まれ(58歳)。
東京都北区に生まれる。
25歳の時に町田市に。
富士通エレクトロニクス株式会社に35年勤務。
2年前にまちだテクノパーク内株式会社ジャパンセルに入社。
両親は都内に住んでおり能登町出身。小さい頃から夏休みの大半は能登で過ごし、中学生の時に少年野球のチームに呼ばれ、能登町の野球大会に参加、優勝した経験も。現在も多くの友人が能登町にいて、あばれ祭りと波並大祭には毎年参加する。地元負けない“祭男”。



まずは、第8回アレサふれあいまつりのお知らせ。10月12日(金)が前夜祭(18時~20時)。13日(土)は9時30分~17時。京王多摩線多摩境駅から徒歩10分。キリコの担ぎ出しと能登物産店の出店を企画中です。キリコ祭りは昨年能登町から譲り受け搬入し今年は2回目になります。アレサふれあいまつりと能登を結びつけられるように活動したいと思っています。

頑張る奥能登人



町田・アレサふれあいまつり・キリコ祭実行委員長 半山茂雄さん (東京都北区出身)

夏祭りだ! 日本遺産・奥能登のキリコまつり



事務局から

当応援団は、平成20(2008)年7月の発足から10周年を迎えました。東京珠洲会、飯田高校同窓会をはじめ奥能登関連するさと会・同窓会と連携する中で、小紙で情報発信しながら首都圏で様々なイベントに取り組み観光PRを行ってきました。故郷の振興にささやかながらお手伝いをと念じながら、身の丈なりに奮闘してきたつもりですが、その成果を問われるならば、内心忸怩たる思いであります。過疎化が否応なく進行していることに「手をこまねいている訳ではない」とつい愚痴になってしまいました。もうひと踏ん張りいたしますので引き続きのご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

〔東京奥能登応援団〕 代表/光真 章 副代表/下平 康次